

## 〈第7次経営計画最終案〉素案からの変更等について

※「【資料2-2】第7次広島県病院事業経営計画（最終案）」において、素案から変更等があった箇所を朱書き下線としている。

	委員の御意見等	病院・事務局の対応等
1	<p>■病院の収支は、機能に見合った利用がなされているかどうかが大きく影響している。</p> <p>この1年間は、ただ患者数が増えれば良いという話ではなく、県立病院に期待されている機能を、必要としている県民の方に利用していただくための仕組みづくりをしてはどうか。</p> <p>広島県に限らないが、患者満足度、診療報酬及びコスト削減など、病院経営の妨げになるような言葉が重視され、病院が本来行うべきことが隠れてしまっているため、思い切って整理することも必要である。</p>	<p>■現在、各病院において外部の経営コンサルティングの支援を受け、現状の分析を行い、県立病院に期待されている機能を踏まえ、経営改善に取り組んでいるところである。</p> <p>具体的には、病院全体において効果的かつ効率的な経営状況の共有方法や紹介患者増の方策、各部門単位でのオペレーションレベルの対応策について整理しているところであり、外部評価委員会において、報告させていただく。</p>
2	<p>■新病院の収支について、統合による人件費の膨らみをどのように収支の中で吸収していくのか。</p>	<p>■新病院の収支を考える上でも、現病院における令和6年度の計画は重要と認識しており、実績とともに「高度医療・人材育成拠点」の情報について、外部評価委員会において、できる限り提供させていただく。</p>
3	<p>■数値目標及び個別の取組を記載するのは難しいと思われるが、他の委員が指摘しているように、どの方向にベクトルを向けていくのかなど、総論的なものを示してほしい。</p> <p>広島病院は三次医療圏の中核を担う存在に、安芸津病院は高齢化と人口減少が進む地域における医療・介護連携のモデルになってほしい。</p>	<p>■『第三章-1（病院事業の基本方針）』に、県全体における医療提供体制の確保に引き続き貢献するために、広島病院は高度急性期医療を中心に、安芸津病院は一般急性期医療を担いつつ地域包括ケアシステムの質の向上に貢献すること、また、『同章-2（各病院の目指す姿）』にそれぞれの役割・機能を発揮することを記載した。</p>
4	<p>■国の基本方針に基づく県の医療費適正化計画は、令和6年4月からの新計画に向け、3月に最終案が示されると思うので、県の医療費適正化計画の方向性が見えてきているのであれば、総論でふれてほしい。</p>	<p>■『第三章-1（病院事業の基本方針）』に、「第8次広島県保健医療計画（「広島県がん対策推進計画」、「広島県循環器病対策推進計画」及び「広島県医療費適正化計画」と一体的に策定。）」や老人福祉法及び介護保険法に基づく「第9期ひろしま高齢者プラン」などで定める施策に沿って、県立病院としての役割を担うことを記載した。</p>
5	<p>■経営に関する課題として、燃料費や人件費等のコスト上昇の視点があれば良いのではないか。</p>	<p>■『第四章-2（病院事業の経営状況）』に、物価・光熱費の高騰など社会情勢の影響から、給与費、材料費及び経費などの費用の増加により赤字が増加している状況を記載した。</p>
6	<p>■新病院に移行するまでの助走期間に何をすべきかが分かる内容であればよいのではないか。</p> <p>現時点で新病院に関する事項を盛り込むことが難しいことは承知しているが、率直な感想として、今回の経営計画は、新病院を目指す上で今ほどの段階にあるのかなど、理念や考え方が見えてこない。</p>	<p>■『第六章-4（高度医療・人材育成拠点基本計画について）』として新たに項目を設定し、当該基本計画の概要及び具体化に向けた取組を記載した。</p>
7	<p>■広島病院は、これまで広島市南区を中心とした地域医療支援病院として、高度医療をはじめ様々な取組を行ってきた。</p> <p>今後は地方独立行政法人化を前に、より広い圏域を視野に入れ、これまでの取組をブラッシュアップすることを盛り込んでほしい。</p>	<p>■『第六章-2（具体的取組）』に、三次保健医療圏（広島県全域）を視野に入れ、救急医療や成育医療、災害医療などの政策医療を実施するとともに、複数診療科の連携による専門医療センターにおいて、高度・専門医療の提供や特殊な診断や治療を必要とする医療需要に対応可能な機能の維持向上や特色の強化に取り組むことを記載した。</p>
8	<p>■統合する予定の病院も含めて、どのような連携が必要になるかを記載してほしい。</p>	<p>■第3回外部評価委員会において病院事業管理者から回答したとおり、新病院開設準備委員会において地方独立法人化後も円滑に運営するための議論が行われる予定であり、外部評価委員会において、できる限り情報を提供させていただく。</p>
9	<p>■経営の視点から、効率化及び経営力の強化などに言及されているが、政策医療に関する記述が少ないように思う。救急車応需率の向上や救命救急センターの効果的な対応等に触れられているが、「政策医療についても積極的に取り組む」等の文言があれば良い。</p> <p>単年度の経営計画を地方独立行政法人移行後の計画につなぐために、経営効率とは逆行するように見える政策医療にしっかり取り組むという内容を理念として明示してほしい。</p>	<p>■『第三章-1（病院事業の基本方針）及びVI章（実行計画）』に政策医療を実施し、県立病院としての役割を果たしていくことを記載した。</p>
10	<p>■広島病院の課題として、広島二次医療圏の高度急性期病院の中で、がん患者数のシェアが低い状況が挙げられているが、課題とそれに対する解決策を連動して示した方が良い。</p> <p>公立病院経営ガイドラインを踏まえて解決策を例示すると、県内からがん患者を集めるため、病院間で十分な連携を図っていくという内容となるのではないか。</p>	<p>■委員が御指摘のとおり、広島病院に期待される機能を提供することが重要と認識している一方で、課題の一つとして持続可能な病院経営のための目標が達成できていないことから、機能分化・連携強化を図りつつ患者を増やしていく必要があることについて加筆修正した。</p> <p>当該課題の解決策として、循環器系におけるハイブリッド手術室導入や消化器系における手術支援ロボットにより、広島病院に期待される機能を必要とされる県民に提供していく。</p>
その他	<p>■調整中であった、『第七章-2（具体的取組）』の指標一覧について、追記するとともに重点指標を設定した。</p> <p>■調整中であった、『第七章-3（収支計画）』について、追記した。</p> <p>■『資料編』を追加した。</p>	